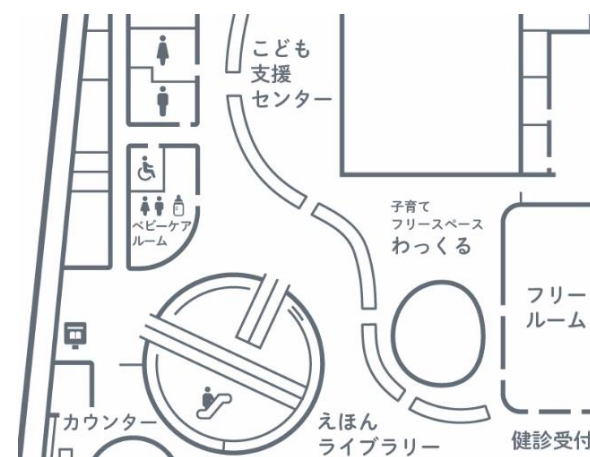


1 わっくるとは



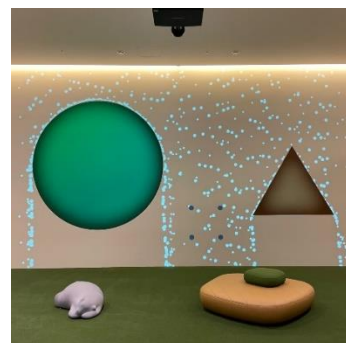
こども支援センター（子育て支援課）と隣接し、未就学児のこどもと保護者等が遊び、憩い、交流するなど、用途に応じてフレキシブルに活用できる自由な場です。



【利用時間】 9:30～16:30
【定員】 100名

2 わっくるは以下のように運用しています。

- ・ワンダー・ウォールや輪唱の○で遊んだり、ぶっくぱーくの本をわっくる内で読むことができます。
- ・あかちゃん連れの方も安心して過ごすことができるよう土足禁止としています。また、あかちゃんコーナーを設置しています。
- ・こどもと保護者が過ごすスペースのため、こどものみ、大人のみでの利用はできません。
- ・「〇〇の日」やイベントなど、様々な催しを実施しています。



【ワンダー・ウォール】
壁面に投影されている映像に触れると、さまざまな変化を見せるこの作品は、こどもの感性を刺激します。

(京都芸術大学 山城大督氏作)



(つちやあゆみ氏作)

【輪唱の○(わ)】
音板を自由に組み替え、木の球を転がすことで様々な曲を奏でることができます。

3 企画の参考例

こども支援センターでは、こども同士や保護者同士、またセンター職員との関わりをもつためのきっかけづくりとして、「〇〇の日」のイベントを定期的実施しています。この「〇〇の日」や、過去に実施したわっくるチャレンジ応援事業のイベントを以下に示しますので参考にしてください。

「〇〇の日」

- ・ **あかちゃんの日**・・・ねんね、はいはいのあかちゃんと家族が安心してゆったりと遊べる日です。ふれあい遊びをしたり、保護者の方向士の交流の時間を設けたりしています。
- ・ **絵本でほっこりの日**・・・絵本を読みながらゆっくりと過ごすことができる日です。司書による絵本の読み聞かせや保育士による紙芝居をしています。
- ・ **輪唱の○の日**・・・いつもは固定の曲ですが、この日は音板を組み替えることで様々な曲を奏でることができます。みんなで一つの曲を完成させて、ボールを転がして遊びます。
- ・ **身近なもので遊ぼうの日**・・・体を使ってふれあい遊びをしたり、家にあるペットボトルやチラシなどを使って遊べたりする日です。わっくる内に掲示する、季節を感じる壁面展示を制作するときもあります。

あかちゃんの日



身近なもので遊ぼうの日



絵本でほっこりの日



輪唱の○の日

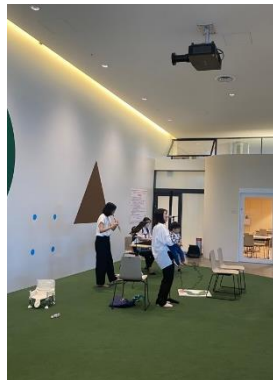


わっくるチャレンジ応援事業に申込みを検討されている方へ

わっくるチャレンジ応援事業 実施分(抜粋)

ルルとリトミック

ルルさんによる企画。
音楽遊びやふれあい遊びを実施し、リトミックをとおして、親子でのふれあいを楽しみました。



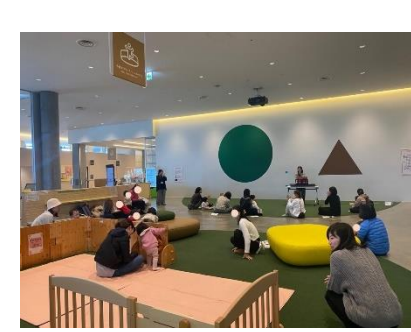
みんなのコドマトペ展

Buz-cre ヤマグチケンタさんによる企画。
親子で「オノマトペ(擬音語・擬態語)」についてイメージしたり体で表現したりすることを楽しみました。



ミニコンサート & キャリア相談会

安東奈都美さんによる企画。
リトミックの要素を取り入れて、音楽を使って親子で触れ合いを楽しみ、キャリアについてのガイダンスを通して、今後のキャリアについて考えるきっかけ作りをしました。



親子で色あそび

まいまい・ゆかりんさんによる企画。
親子で色さがしや色あてをしたり、色紙でお弁当作りをして楽しみました。



親子で一緒にわらべうた遊び

手遊びや顔遊び、抱っこでゆらゆらしたり、わらべうたを通して親子でのふれあいを楽しみました。



4 イベント企画時の留意点

- ・親子分離の講座や、机を並べて実施する講座形式のものではなく、**親子で参加し楽しめる企画**としてください。
 - ・わっくるは出入りが自由な場のため、わっくるを閉め切ってイベントを実施することはできません。**当日参加にも対応できる企画**としてください。
 - ・わっくるを通常利用する方の場所も確保したうえで、企画を実施してください。
 - ・わっくるの利用者について、平日の午前中は0～2歳児、午後は幼児が多く、土日祝は通日乳幼児が混在する傾向にありますので、利用者層を踏まえたうえで、イベントの企画をしてください。
 - ・参加者の方がイベントに参加しやすいよう、**材料費を含め、参加費を徴収することはできません。**
 - ・イベントのチラシや配布資料等の印刷については、企画者で対応してください。
- ※その他、詳細については募集要項をご確認ください。